



# 十二月 (大) 師走 翼宿

十一月七日大雪の節より  
月命甲子四緑木星の月  
暗剣殺東南方

旧 十月小  
十一月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	土	ひのと	四緑	映画の日、鉄の記念日、世界エイズデー、歳末助け合い運動 旧十月小	廿四	先負	さだん	女	神よし	6.32	16.28	13.02	19.01
2日	日	つちのえ	五黄		廿五	佛滅	とる	虚	天おん	6.32	16.28	13.36	20.01
3日	月	つちのと	ム六白	秩父夜祭、障害者週間、己巳	廿六	大安	やぶる	危	くゑ日	6.33	16.28	14.09	20.46
4日	火	かえうま	七赤	人権週間、大つち	廿七	赤口	あやぶ	室		6.34	16.28	14.42	21.25
5日	水	かのと	八白	納めの水天宮、不成就日	廿八	先勝	なる	壁	大みやう	6.35	16.28	15.17	22.02
6日	木	みづのえ	九紫	小田原秋葉権現火防祭	廿九	友引	おさん	奎	●	6.36	16.28	15.54	22.37
7日	金	みづのと	一白	大雪一三時二六分、朔一六時二〇分 旧十一月大	朔	大安	おさん	婁	神よし	6.37	16.28	16.35	23.11
8日	土	きのえ	二黒	岡山最上稲荷火焚祭、納めの薬師、成道会、こと納め、針供養	二	赤口	ひらく	胃		6.38	16.28	17.19	23.44
9日	日	きのと	三碧	京都徳寺大根焚き、漱石忌、一粒万倍日	三	先勝	とづ	昴	ぢう日	6.38	16.28	18.07	24.11
10日	月	ひのえ	四緑	世界人権デー、納めの金毘羅、大宮氷川神社大湯祭、一粒万倍日	四	友引	たつ	畢		6.39	16.28	18.59	24.34
11日	火	ひのと	五黄	不成就日	五	先負	のぞく	觜	大みやう	6.38	16.28	19.52	25.01
12日	水	つちのえ	六白	小つち、三隣亡	六	佛滅	みつ	参	きこ	6.40	16.28	20.47	25.34
13日	木	つちのと	七赤		七	大安	たいら	井	●	6.41	16.28	21.42	26.01
14日	金	かえ	八白	東京高輪泉岳寺義士祭	八	赤口	さだん	鬼	天おん	6.41	16.28	22.37	26.34
15日	土	かのと	九紫	○上弦二〇時四九分、年賀郵便特別扱い、東京世田谷ポロ市	九	先勝	とる	柳	十し	6.44	16.29	12.27	18.33
16日	日	みづのえ	一白		十	友引	やぶる	星	百事吉	6.44	16.29	12.27	18.33
17日	月	みづのと	二黒	東京浅草観音蔵の市、伊勢神宮月次祭、奈良春日大社若宮おん祭	十一	先負	あやぶ	張	天おん	6.44	16.30	12.57	19.35
18日	火	きのえ	三碧	納めの観音、十方ぐれ入り	十二	佛滅	なる	翼	大みやう	6.45	16.30	13.28	20.20
19日	水	きのと	四緑	不成就日	十三	大安	おさん	軫	神よし	6.45	16.30	14.02	20.59
20日	木	ひのえ	五黄		十四	赤口	ひらく	角	五む日	6.46	16.31	14.48	21.38
21日	金	ひのと	六白	納めの大師、一粒万倍日	十五	先勝	とづ	亢	大みやう	6.46	16.31	15.23	22.18
22日	土	つちのえ	七赤	冬至七時二三分、ゆず湯、一粒万倍日	十六	友引	たつ	氐	くゑ日	6.47	16.32	16.14	22.59
23日	日	つちのと	八白	□天皇誕生日、○望二時四九分	十七	先負	のぞく	房		6.47	16.32	16.52	23.41
24日	月	かえ	九紫	振替休日、クリスマス・イブ、納めの地藏、三隣亡	十八	佛滅	みつ	心	きこ	6.48	16.33	17.12	24.11
25日	火	かのと	一白	クリスマス、終い天神、蕪村忌	十九	大安	たいら	尾	●	6.48	16.33	17.55	24.59
26日	水	みづのえ	二黒		廿	赤口	さだん	箕	大みやう	6.49	16.34	18.45	25.32
27日	木	みづのと	三碧	天一天上、不成就日	廿一	先勝	とる	斗	十し	6.49	16.35	19.33	26.05
28日	金	きのえ	四緑	官庁御用納め、納めの不動	廿二	友引	やぶる	牛	ちいみ	6.49	16.35	20.33	26.38
29日	土	きのと	五黄	○下弦一八時三四分	廿三	先負	あやぶ	女	大みやう	6.50	16.36	21.58	27.11
30日	日	ひのえ	六白		廿四	佛滅	なる	虚	母倉	6.50	16.37	23.52	27.44
31日	月	ひのと	七赤	年越し、大はらい、男鹿なまはげ、除夜の鐘、出羽三山松例祭	廿五	大安	おさん	危	神よし	6.50	16.37	12.45	19.23

一年の締めくくりの月であり、年間を通じて最も日中の短い月である。この月の別名として「師走」の呼称が通例になっているのは、やはり一般に師匠までも走り出す月、という人間味を伴った語感のせいであろうか。

年の最後の月として、各地でいろいろな行事や祭りがあがるが、だいたいが納めや供養である。

今年一年間の喜び、反省等、それらを思い返し、整理することで、来る年への指針となし期待を持ち、そして自戒するべきものがあれば心に誓うべきであろう。

【祭】歳暮とは元来年の暮のことであるが、日ごろ世話になってる人や親戚などへの、一年間のお礼心としての贈り物がいつのころから「お歳暮」というならわしになった。

正月始めは、この月の八日か十三日から、正月を迎える準備をし始めることを

いう古い習慣で、すず払いから着手したものである。二十二日前後には二十四節気の一つ「冬至」がある。この日北半球では最も日が短く、この日を境に日脚が延びるので、地方によりそれぞれ行事を持つ。風邪をひきにくくといつて「ゆず湯」に入る習慣は全国的に知られている。

二十三日は「天皇誕生日」である。

二十五日はキリストの降誕日で、その前夜の「クリスマススイブ」ともに、欧米では正月よりも盛大に祝う。わが国でもキリスト教とは関係なくツリーを飾ったり、プレゼントをし合ったりする家庭も多い。

新年を迎える飾り物は、三十日までにととのえるが、二十九日は苦飾り、三十日は一夜飾りといって嫌うので早目の準備を心掛けよう。

大晦日(おみそか)の夜は神棚にお灯明をあげたり、年越しそば(みそかそば)を食べたり、神社や寺院に参詣したりし、その土地土地によって独特の習慣を持つていたりする。